



にしもり のぶお 議員
西森 信夫

早くワクチン接種が終わり
もとの生活へ

変わりつつある学校の現状は

問 コロナ下における教育現場での、GIGAスクールへの進捗状況、子どもたちに1人1台のタブレット端末の配布、活用方法とICT整備は。

答 本年3月、各小中学校に通信ネットワーク環境整備とタブレット端末の配置が完了した。ICT機器を用いた指導方法や中期的方針、教職員の活用方法などの研修も重要と考えている。教職員、児童生徒が操作に慣れるところから始め、秋ごろから授業などで少しずつ

活用できることを目指している。

問 学校と家庭でのICTの環境ギャップをどのように考えその対処方法は。

答 将来的には、家庭に在る児童生徒と学校に在る教職員がICT機器を活用し、双方向の学習などの活用を考えたときに、家庭における通信環境の整備は重要であり、現在整備中の光回線が来年4月供用開始されると児童生徒の在宅学習のためのICTが改善されると考えている。

また、WiFi環境が整備されていない家庭には、モバイルルーターを貸出し、子どもたちの学ぶ保障を確保している。

問 コロナ下で学校行事が計画できない状況の中、代替案をどのように考えているか。

答 今年度の学校行事については、基本的には全て実施の方向でスタートした。

しかし北海道の緊急事態措置により、運動会などを秋へ延期や内容変更するなど、できる限り実施の方向で学校と連携を図っている。

問 通学、授業、日常生活における子どもたち、教職員の感染防止策は。

答 学校においては新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルに基づき実施している、3密の回避など基本的な対策のほか、学習内容や方法の工夫により感染予防策をとりつつ学校教育活動継続に努める。



タブレット端末での学習は全国的に広まっている

GIGAスクールの構想とは

児童生徒1人1台のPC、タブレット端末と高速通信ネットワークを整備して、子どもたち誰一人取り残すことなく、公正に創造性を育む教育を全国の学校現場で持続的に実現させる構想です。

ICTを活用した教育とは

情報通信技術を活用した教育のことで例えば、紙の教科書の代わりにデジタル教科書を活用したり、電子黒板や動画を用いた授業をすることです。

問 コロナ禍での本町教育現場の現況は

教育長 GIGAスクール構想の整備を



こちらから西森議員の一般質問を視聴できます